

3. 北関東（地域別調査機関：株式会社日本経済研究所）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連  (北関東)	◎	百貨店（店長）	・これまで苦戦が続いてきた紳士服や婦人服の売上に、回復の兆しが見られる。新型コロナウイルス新規感染者数の低減傾向が続き、イベントや旅行等の外出機会の拡大や屋外でのマスク着用の見直しが進めば、ファッションや化粧品、その他商材への需要も、徐々に高まっていくと想定している。
	◎	コンビニ（店長）	・新型コロナウイルスも収まってきたので、人の流れは今以上に良くなる。
	◎	乗用車販売店（販売担当）	・このまま行動制限緩和が続くようであれば、当観光地は良くなる。当然、顧客が良くなると当社の景気も良くなるという循環になってくる。
	◎	観光型ホテル（経営者）	・G o T oキャンペーンに期待している。
	◎	通信会社（営業担当）	・新型コロナウイルス新規感染者数が減っていることやワクチン接種の影響もあり、外出する機会が増え、飲食業を中心に回復の兆しが見られる。
	○	一般小売店〔土産〕（経営者）	・前月は旅行先で土産物を買う動きは少なかったが、今月は土産物を購入する客が増えてきたように感じる。修学旅行等の学生団体は依然として堅調で、一般団体旅行も増えつつある。比較的規模の大きいレストセンターには、大型バスがよく停まるようになってい。6月より外国人観光客の受入れも始まるので、日本の新型コロナウイルス感染対策を外国人客にも理解してもらい、売上につなげていければと期待している。
	○	百貨店（店長）	・人流が戻り、人々の消費動向が戻りつつあると感じているため、やや良くなる。
	○	コンビニ（経営者）	・現在の外的状況に変化が起きる見込みがない。
	○	衣料品専門店（統括）	・当店は祭り衣装等を専門に扱っている。この1～2年、全国の祭りが中止になったため、店の売上は大打撃だったが、いづらか兆しが見えてきている。東京で祭りが始まり、縮小されても祭りが行われるようになってきたことは、私どもにとっては非常に良いことだと思っている。これから夏～秋にかけて、精一杯、祭りができるように皆に頑張ってもらいたいと思っている。
	○	一般レストラン〔居酒屋〕（経営者）	・食品や原油の価格高騰等、マイナス要因は多いものの、新型コロナウイルスワクチン接種の進捗や各所の経済活動の活発化等、全体的には行動範囲が広がって、景気も回復していくと思われる。
	○	一般レストラン（経営者）	・円安の影響による値上げは3か月後には落ち着くとみており、仕入先も同様に感じているようである。ただし、どうしようもなくなった場合は値上げをして、来客数が減っても利益を取らざるを得ない。
	○	都市型ホテル（支配人）	・W i t h コロナ、アフターコロナの取組が定着し、新型コロナウイルスが感染拡大しないことを願い、希望的観測も含めて、良くなってほしい。
	○	都市型ホテル（スタッフ）	・県民割も延長され、今後は都民割も再開されるとの報道もあり、追い風が吹いている。新型コロナウイルス禍前の2018年と比べても105%と宿泊は好調である。レストランも個人利用は堅調に推移しているが、団体利用はまだ弱く、2018年との比較で95%程度となっている。宴会については相変わらず飲食を伴う利用は少ないものの、人員制限等の解除が進み、金融、官公庁系が動いてくれば期待が持てる。
	○	旅行代理店（経営者）	・前年に比べると学生団体が動いている。一般団体はまだ無理ではないか。
	○	旅行代理店（所長）	・飲食時の人数制限解除も発表され、徐々にW i t h コロナが浸透し始めてきている。インバウンドの人数制限も段階的に解除との方向性が発表され、適度な注意をしながらも、ある程度は自由に旅行ができる雰囲気が出てきているので、旅行市場の拡大が期待される。
○	旅行代理店（従業員）	・新型コロナウイルスに対する慣れもあるのか、販売量が増えている。	

○	タクシー（経営者）	・ゴールデンウィークから動きが良くなってきたので、この先も良くなるとみている。
○	テーマパーク（職員）	・ゴールデンウィーク以後の新型コロナウイルス新規感染者数増加がみられないため、週末を中心に観光客も徐々に回復してくるのではないかと。
○	設計事務所（所長）	・新型コロナウイルスの感染状況にもよるが、前年同時期と比較しても人の動きはかなり良くなっており、景気回復の兆しを感じられる。
○	住宅販売会社（経営者）	・Withコロナで新型コロナウイルス前とは取引内容が変わったものの、確実に需要は回復傾向にある。変化に対応できる企業が残っていきつつある。
□	一般小売店〔精肉〕（経営者）	・新型コロナウイルスのワクチン接種4回目が受けられるようになってきている。イベント、各行事ができるようになれば、回復の兆しも出てくる。しかし、いろいろな品物の値上がりが見られ、報じられており、会社は大変である。生活必需品しか動かない。
□	一般小売店〔青果〕（店長）	・緊急事態宣言等の発出はなくなっているが、新型コロナウイルスの新規感染者数が減らないので、やはり夜の人出が少ない。宴会や居酒屋等の売上が戻っていない。
□	百貨店（営業担当）	・新型コロナウイルスの見通しは依然不透明な上に、円安や物価上昇等の懸念材料も加わり、消費に対する慎重な姿勢は継続する。
□	スーパー（総務担当）	・ウクライナ情勢や物価上昇による悪化も懸念されるが、政府による政策もあるので、大きくは変わらないのではないかと。
□	スーパー（商品部担当）	・現在、売上は前年比8%減少と悪い状態が続いており、売上回復の兆しが見えず、このまま減少傾向が続くようである。イベントや地域経済活動もあるが、以前のような盛り上がりがない。値上げラッシュが続いている間は厳しい。
□	コンビニ（経営者）	・近くの工場の出勤人数が大きく減少したまま新型コロナウイルス前に戻っていないことが、来客数の回復を妨げている。しかし、前面道路の交通量は大幅回復し、物流の動きは活発になってきた感がある。値上げが消費者に受け入れられていけば拡大傾向となり、景気回復につながると期待している。ロシアや国際情勢の悪化で、これ以上日本へ悪い作用がないことを願っている。
□	衣料品専門店（店長）	・新型コロナウイルスの新規感染者数の増減に左右されるため、先行きは不透明で、明るい兆しはない。
□	家電量販店（営業担当）	・海外から大小様々な部品の入荷が少ないことや値上げの影響がある。売上、利益の減少している取引先の建築関連企業でも、資材価格高騰のため、発注量に影響が出ている。
□	乗用車販売店（経営者）	・当地域の自動車メーカーは、依然として中国上海のロックダウン等でサプライヤーからの部品調達が順調ではなく、前年比70%程度の生産台数に落ちてしまっている。一方、大規模小売店の来客者数は多少増えてきているようである。
□	自動車部品販売店（経営者）	・良くなる材料が見当たらないが、悪くなる材料もこれといってない。現状維持プラスアルファ程度ではないかと。
□	住関連専門店（店長）	・新型コロナウイルスの新規感染者数は減少傾向だが、ウクライナ情勢による物価の不安定さが継続しており、当分は終息しない見込みである。
□	住関連専門店（仕入担当）	・為替や連動する資源価格の不安定さは当分続き、Withコロナへの浸透も手探り状態なので、現状が当分続く。
□	その他専門店〔靴小売業〕（経営者）	・過去にもあったが、一時的に消費が増加しても継続して人の動向が良くなるとは考えられない。生活用品や電気、ガス又はガソリン価格が、毎日のように値上げ報告されている。また、メーカーの生産や物流の改善がいまだに良い方向に向かっていない。我々小売業の状況は厳しいままである。
□	一般レストラン〔居酒屋〕（経営者）	・今後も、とりあえずは現状維持の予想をしている。
□	一般レストラン（経営者）	・梅雨に入ると、例年どおり少し客足が減るのではないかと。
□	都市型ホテル（総支配人）	・宿泊は好調で料飲は現状維持若しくは若干の回復傾向という状況が、しばらくは続く。
□	タクシー運転手	・新型コロナウイルスの影響で、いまだに出張での来客が少なすぎる。その上、地元の利用客も少ない。

□	通信会社（経営者）	・まだしばらくは現状が継続する。国のG o T o系の支援事業が再開すれば、事業を利用して少しは立ち直れるのかと思う。
□	通信会社（総務担当）	・需要を喚起できる要素が乏しい。
□	通信会社（局長）	・ウクライナ情勢や中国のロックダウンの影響が出てきており、機器の調達も滞りつつあるので、予断を許さない。
□	ゴルフ場（従業員）	・原材料等の価格高騰のため、変わらない。
□	設計事務所（所長）	・新型コロナウイルス禍は落ち着いてくると予想されるが、景気についてはしばらくはこのままで推移するのではないかと。
□	その他住宅〔住宅管理・リフォーム〕（営業）	・原材料の値上がりで、予定コストを上回る見積金額になってしまったため、何らかの工夫や譲歩を引き出す必要がある。
▲	商店街（代表者）	・新型コロナウイルス禍で、自宅からの外出を控える人が多いなか、商材の値上がりが続いて、先行き不安が募るばかりである。
▲	百貨店（営業担当）	・不透明な世界情勢や物価上昇、いまだ収束のみえない新型コロナウイルス禍など、まだ客に消費意欲が戻っておらず、生活防衛への警戒感を感じている。
▲	コンビニ（店長）	・食品等の多品種の値上げが相次いでおり、夏祭りの自粛等も継続していることから、良くない方に影響するのではないかと。
▲	乗用車販売店（従業員）	・新型コロナウイルス感染拡大の影響等で、半導体不足のため車両納期の遅延が続き、思うように受注できない状況が続いている。
▲	その他飲食〔給食・レストラン〕（総務）	・事業所給食において、食材費の上昇は今しばらくは続くともっている。加えて、最低賃金の見直しにスライドする形で人件費も上昇することから、総体のコスト上昇が続く限り、当面は収支の厳しい状況が続く。
▲	通信会社（社員）	・新型コロナウイルス関連では、徐々に経済活動も広がりを見せているものの、ロシアのウクライナ侵攻による物価高騰等の影響の方が上回るのではないかと懸念している。
▲	ゴルフ練習場（経営者）	・今後もしばらくは中国上海のロックダウンの影響で、物不足が続く見込みである。
▲	競輪場（職員）	・世界情勢の不安定な状況が長引いており、物価上昇の影響が出始めていると感じている。
▲	その他サービス〔自動車整備業〕（経営者）	・地方の中小零細企業の大半は、売上減少と利益率低下のなかで、給与アップを叫ばれてもどうしようもない。悪化の要因が解除されない限り、しょうすいは続く。
×	一般小売店〔家電〕（経営者）	・このまま物価高騰が進んで、半導体不足が続くようだと、商売は上がったりの状態になる。政府も少し考えてくれないと市民の生活は苦しくなる一方である。自分たちばかりで金を使っていないで、少しは減税する方向へ持っていかないと助かる。
×	コンビニ（経営者）	・特に、夜の時間帯は客が全然来ない。隣にあったファミリーレストランが葬儀会社になってしまったことが原因である。
×	衣料品専門店（販売担当）	・今後、人流を促進するような具体的な安心対策が、政治責任で出てこない限りは、このままずっと下り坂の悪い状態が続いていく。
×	家電量販店（店員）	・商材の供給が回復しない間は、期待が持てない。
×	その他飲食〔ファーストフード〕（経営者）	・メーカーより、7月頃からの小麦、油、ガス等の値上げの依頼が来ている。年内にはもう1段階値上げの話もあるため、やはり売価に転嫁せざるを得ない。大手ナショナルチェーン等も10月を目途に今から値上げの話をしている。値上げの話は今から客に根付いていって、先の消費は落ち込むと考えている。
×	都市型ホテル（経営者）	・耐えるのももう限界である。宿泊やレストランの売上は、新型コロナウイルス前の1/3で、本当に限界である。
×	通信会社（経営者）	・仕入れコストの上昇分を売価に転嫁ができないのが現状である。デフレマインドが根付いている消費者は、値上げをすれば何のちゅうちょもなく安い方に移る。決して景気が良いわけではない今、円安を維持するのは、かえってデフレマインドを助長するだけで、財布のひもは一層固くなるだけではないかと。

	×	美容室（経営者）	・世界の国家間勢力がアンバランスな今こそ、政治の舵取りが求められている。防衛力の強化も必要だが、外交力が欠けている。
企業 動向 関連  (北関東)	◎	—	—
	○	化学工業（管理担当）	・新型コロナウイルス禍が緩やかではあるものの、収束に向かって いる。
	○	電気機械器具製造業（経営者）	・取引先から「3か月後くらいから、新機種が出るので増産する」といわれている。おそらく8～9月頃からは多少、良くなる。
	○	輸送用機械器具製造業（総務担当）	・需要はあるので、やや良くなるのではないかと。
	○	社会保険労務士	・前年までは中止だった夏祭り等のイベントが行われるなど、少しずつ通常の経済活動に戻っていく。
	○	その他サービス業〔情報サービス〕（経営者）	・受注の件数、金額からみても増加傾向にあり、収益の改善が見込める。
	□	金属製品製造業（経営者）	・これから先の景気は分からないし、景気は悪いと思っていて、本当に困っている。
	□	金属製品製造業（経営者）	・取引先の生産計画が上振れする理由が見当たらない。
	□	一般機械器具製造業（経営者）	・我々のような中小企業でも戦争による影響を受け、原材料の確保が難しくなっている。全ての製造業の景気が上向かないような気がする。
	□	輸送用機械器具製造業（経営者）	・取引先、販売量、競争手の様子等が、この2～3か月は上がったたり下がったりで、全く分からない。今後のことも同様に全く読めない。
	□	その他製造業〔消防用品〕（営業担当）	・しばらくはまだ新型コロナウイルスの影響が残ると考える。
	□	輸送業（営業担当）	・夏物家電、エアコン、扇風機、除湿器等の物量は前年並みを確保しそうである。新型コロナウイルスの行動制限も緩和され、レジャー、バーベキュー用品等の物量も増える予定である。しかし、原油価格高騰も続いており、政府の緩和策である程度価格も落ち着いているが、いまだに高値でコスト高となっているため、経営的には厳しくなりそうである。
	□	経営コンサルタント	・新型コロナウイルス禍が収まりつつある一方、ウクライナ戦争が引き金となった世界全体の経済活動の停滞や、それに関連する燃料や輸入資材の価格高騰の影響で、中小企業や下請企業、商店等、販売業への業績面へのマイナスの影響が、大きな懸念となっている。
	▲	窯業・土石製品製造業（総務担当）	・原材料の全てで価格高騰しているものの、製品に価格転嫁ができず、苦慮している。
	▲	一般機械器具製造業（経営者）	・自動車の組立ラインが稼働しない状況が改善されず、長引く見込みである。
▲	建設業（総務担当）	・例年以上に年度初めの動きが悪い上、この先の見通しも暗い。	
▲	不動産業（管理担当）	・空きテナントの下見はあるものの、入居につながるものがほとんどない状態が続いている。取引先も資材高騰に悩んでおり、円安や世界各国での資材取り合いで、値上がり要素が続く限り、経費増加による利益の減少や契約内容の縮小による売上減少が見込まれる。	
×	建設業（開発担当）	・現与党政権誕生後、公共工事は順調であったが、新型コロナウイルス禍の影響で、2年前からは前年割れが生じている。今期も新年度がスタートした4月の発注は、前年の60%と厳しいスタートで、今後に期待せざるを得ない。当社受注も前年比10%減少で厳しい。	
雇用 関連  (北関東)	◎	—	—
	○	職業安定所（職員）	・製造業や建設業からの新規求人が増加傾向にある。また、まん延防止等重点措置が解除されたことにより、飲食店やサービス業等からの求人の動きもみられること等から、やや良くなる。

<input type="checkbox"/>	人材派遣会社（経営者）	・天候が良く気温も上がり、梅雨に入る時期にはなっているが、衣料品、食料品、特に、生鮮食料品等は、やや高めになると予測して、購買力が上がってくる。行楽地へお金を落とすよりもまだ自宅等での消費が多く、食材やゲーム機、衣料品等も含めて、横並びの状態である。値上がりが予測される公共料金、ガス、電気等もあるので、余り購買は高まらないのではないかと。
<input type="checkbox"/>	人材派遣会社（経営者）	・仕事の依頼が少ない。
<input type="checkbox"/>	人材派遣会社（社員）	・特に大きく改善する要因は見当たらないが、しばらく人材不足の状況は続く見込みである。取引先の自動車部品メーカーは半導体不足による減産の影響で採用を抑制しており、業界によって温度差がある。
<input type="checkbox"/>	人材派遣会社（管理担当）	・原材料、部品等の調達見込みが不透明で、自動車部品を扱うクライアントの生産計画は変わらない。
<input type="checkbox"/>	職業安定所（職員）	・求人倍率は一進一退で、月ごとに推移しているので、この状況は変わらない。
<input type="checkbox"/>	学校〔専門学校〕（副校長）	・新型コロナウイルスやウクライナ等の国際情勢の悪化を受けて、物価が上昇し消費行動が抑制されている。今後の動向を様子見の状況と感じており、先行きは不透明である。
▲	—	—
×	*	*